

The Sakato News

DEMOLITION SITE REPORT Vol.200907

Edited and Published by SAKATO CO.,LTD.

314, Chigusacho, Hanamigawa-ku, Chiba 262-0012 tel.043-286-5400 fax.043-286-4187 info@sakato.jp www.sakato.jp

SDS 250 KATANA-ARM

エス・ディー・エス250

「SRC解体機に新製品！SDS250 KATANAアーム
例えるならば刀の切れ味！超ロングでもSRCを一刀両断！」



THE NEXT WILL BE THE BEST

SAKATO

「SRC解体機に新製品！ SDS250 KATANA アーム 例えるならば刀の切れ味！ 超ロングでも SRC を一刀両断！」



施工業者	株式会社琉建開発 様 (埼玉県川口市 / 総合解体業)
代表者	代表取締役社長 / 大城 徹 様
インタビュー	代表取締役社長 大城 徹 様 (写真左) オペレーター 金沢 孝美 様 (写真右)
現場種類	SRC 11 階建てマンションの 1 次解体作業
弊社製品名称	SDS250 KATANA-ARM (35 ~ 100t ロング用の新開発 SRC 解体用アーム)
台車ショベル	Z X 1000 (100t クラス ロング 36m)

16 歳で飛び込んだ建物解体業！ 25 歳で一念発起して独立！

私は会社名の表すように沖縄県の出身でして、16 歳のときに上京し、総合解体業者に入社しました。勤続中の約 10 年間で仕事を覚えて 25 歳のときに独立し起業しました。創業当初は木造解体を中心に営業を始めまして、3 年後に産業廃棄物収集運搬業も始めました。そして翌年の平成 14 年に、現在の総合解体業に乗りだしました。総合解体業界に入ってからはお客様に誇れる施工力を身につけたいとの思いで、まず積極的に大手ゼネコン数社のお仕事を請け負うように努めました。おかげさまで、ゼネコンさんの仕事を通じて「安全面」「管理面」で大きく成長できました。

また厳しい受注条件の中でやりくりする必要に迫られ、工事原価を少しでも低く抑えるための工夫を続けてきました。中でも「施工方法」の工夫はコストダウン効果が大きいですから、解体機に関するこだわりも大きくなってきました。

都区部住宅街の老朽化した 11 階建て地上 34mSRC 造マンションの施工計画に臨む

今回の解体物件は、都区部の住宅街の中にある SRC 造の 11 階建ての地上高 34m で、建坪が 90 坪、駐車場が 200 坪程度の広さです。隣接は医療機関と商店です。躯体の解体工期は 2 ヶ月です。建物の老朽化により、強度が不足しており、解体工法に関しては「階上解体」はおこなえません。したがって、「地上解体」でやらざるを得なくなったのです。通常の工法ならばロングのショベルを 2 台投入したいところです。SRC 造ですので、大割クラッシャーが 1 台と、鉄骨カッター 1 台の計 2 台の併用になるでしょう。しかし現場は狭いので、ロングが 1 台と、小割とバケット兼用機が 1 台くらいしか入るスペースしかありません。SAKATO の SRC 解体機の実績を見ていると、ロング 1 台に SRC 解体機をつければ何とかなるかもしれないと考えたのです。



500mmのカッター長をもつ「SDS250 KATANA-ARM」導入を決断！

聞けば、SDS250 SRC-ARM を 20t クラスのスタンダードに装着して H 形鋼 600mm の十文字タイプの SRC 柱を切断している実績があるそうです。しかし今回のように 36m のロングに装着するとなりますと話が違います。ロングの操作では無理をすることができないのです。特に鉄骨の切断作業が難しいと思いました。しかし、SAKATO が今年新たに開発した SRC 用解体機があり、カッターの長さは鉄骨カッター並みの 500mm になり、スムーズに切れるというのです。既に 40m クラスのロングにつけて話題の「東京中央郵便局」の解体で SRC 梁柱を切断している実績の説明を聞き、導入の決断をしました。



10階部分のSRC梁の破碎&切断中のSDS250 KATANA

例えるなら「刀の切れ味！」SRCを一刀両断！

100t クラスロングに SDS250 KATANA をつけて現場が始まりました！まず「SRC 梁」をやってみました。高強度コンクリート対応といわれた鋭い先端ツールは余裕で梁のコンクリートを破碎して、H 形鋼 300mm が露出しました。梁を放さずにそのまま 500mm の長い鉄骨カッター部分に H 形鋼を滑りこませて、軽く一発で切断しました。カッターが長いので楽勝で切れました！「これ 1 台でかなりの SRC がロングでもいけるな」、とピンとききました。



破碎切断後のH形鋼300mm

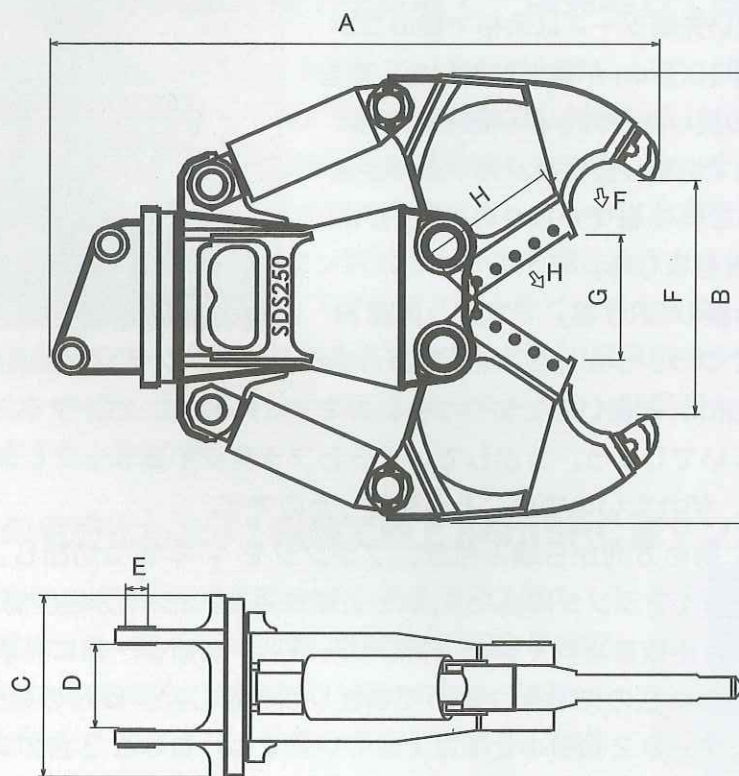
次に、気にしていた「H 形鋼の SRC 柱」ですが、内部 H 形鋼はサイズが 350mm、X フランジが 350mm 厚み 16mm です。フランジは通常 200mm 以下ですが、このフランジは 350mm と長いので切りづらいのです。一般的に 20t クラスのカッター専用機でも、これを切るのは難しいでしょう。つぶしてしまうとフランジが重なってしまい厚みは倍になり 32mm にも達しますから、切れないのでは、と心配だったのです。

従って、つぶさないように斜め方向から噛み付き、フランジを 1 本ずつ切断しようと思いました。500mm の長いカッターがうまくフランジに当たり、スッと切れ目を入れ、半分程度簡単に切れました。すでに先端ツールで半分ほどは中抜きされていたコンクリートも、切断と一緒に見事に崩されてすべて破碎されてゆきました。あとは柱の先端をつまんでちぎり取れました。ほんの数分の作業でした。これ 1 台で大割機と鉄骨カッターの 2 台分の仕事はできていますね。むしろ 2 台のショベルに分けて譲り合って仕事するよりも、1 台でこうやってグングン進めたほうが効率がいいかもしれません。この SRC 解体機が 2 台入ればものすごく早いですよね。今後の計画ではもう少し高さが下がったら、100t ショベルを 30m に短くして、それに大型の SDS500 SRC-ARM を装着してもっと効率を上げようとしています。

今回は高所用の散水機も導入しており、作業周辺は無人化を実現しています。ガス工も散水工もいませんので、安全性も向上させました。この物件で都区部の高層 SRC 構造物解体の施工に自信をつけ、さらにお客様に信頼を持っていただけるようになればいいですね。

| SDS 250 KATANA-ARM 仕様

SDS		250
適合ショベル	tons	20~23
質量	kg	2140
A) 全長	mm	2705
B) 全高	mm	1999
C) 全幅	mm	780
D) ブラケット内幅	mm	354
E) ブラケットボス径	φ/mm	95
F) 破碎力	tons	84
F) 最大開口幅	mm	1050
G) カッター部開口幅	mm	530
H) 切断力 (※カッター中心部)	tons	210
H) カッター長	mm	500
H) カッター刃交換方式	4面反転交換方式	
旋回機能	360° フリー旋回方式/油圧旋回方式 (オプション)	
設定圧力	kgf/cm ²	320



SAKATO

<http://www.sakato.jp>
info@sakato.jp

<発行元> 株式会社サカト商工

本社 〒262-0012 千葉県花見川区千種町314番地
TEL(043)286-5400 FAX(043)286-4187